

# 富山妙子展

戦争50周年記念企画  
「20世紀へのレクイエム・ハルビン駅」

1995年4月10日(月) — 4月30日(日)

10:00AM~5:00PM 会期中無休

多摩美術大学附属美術館

〒192-03 東京都八王子市鎌水2丁目1723

TEL0426-76-8611

## 会期中に開催されるイベント

- 4・15(土) 2:00PM~5:00PM  
シンポジウム「アジア・女・表現」  
任展慧、極井やより、萩原弘子
- 4・22(土) 5:00PM~7:00PM  
高橋悠治のワークショップ「音の身体」
- 4・29(土) 2:00PM~5:00PM  
トーク「時代と表現」 尹凡牟・富山妙子
- 原一男、小林佐智子(疾走プロ)による  
ハルビン駅シリーズ作品撮影
- 富山妙子の絵による映像作品上映



Shinced by history

## 富山妙子展について

戦争が引きずったさまざまなひずみは半世紀を迎えようとしている現在でも、厳然として重くのしかかっています。

戦時下のハルビンで少女時代を過ごした経験のある富山妙子さんは、このひずみの去来をルポルタージュするためにペンと画筆を握り、女性の立場から、丁寧な眼を向け、内外にメッセージを送りつづけています。

このような富山妙子さんの歴史と未来に向けての視点と姿勢に、アーティストと社会のきっちりとした接点を見ることが出来ると考えます。

多摩美術大学附属美術館

館長 山邊 知行

## 「20世紀へのレクイエム・ハルビン駅」シリーズ

日本の植民地・旧満州の大連とハルビンで意識形成をした私には、戦争中に見てきた光景が痛苦をとまなう原風景となっている。

1930年代、「王道楽土・五族協和」というにぎにぎしい「満洲国建国祝典」の行事から、「大東亜戦争」へと拡大してゆく時代、私は小学生から美術学生になってきた。

まるできつね憑きのような時代だった。きつねは化身して人を惑わせ、あるいは「虚でもって実を孤立化させる」という。そのきつねに託して、私の原風景をよみがえらせよう — 植民地獲得の虚妄にとり憑かれた日本の、その戦争犠牲者に捧げる私のレクイエムである。

富山 妙子

### 会期中のイベント

\*いずれも参加自由(無料)

4・15(土) PM2:00~5:00

シンポジウム「アジア・女・表現 — 戦争から50年の現在を照らす」

スピーカー：任 展 慧(日本近代文学研究) 松井やより(ジャーナリスト) 萩原弘子(女性学、芸術思想史)

表現者・富山妙子の歩みを日本の戦後史に重ねてふりかえり、アートと時代の関わりについて3人の論者が語ります。芸術表現が時代と社会のなかでもつ力、時代と社会を越える力を見つめて、芸術表現の可能性を考えてみようと思います。

4・22(土) PM5:00~7:00

高橋悠治のワークショップ「音の身体」

楽器の構成部分と、それを打つ手や指や息のうごきの相互関係を音と呼ぶ。時間と空間も音とともに生まれる。近代的な統合と制御の均質化した技術にかわる、分散と協働の多様な技法をよみがえらせるために。

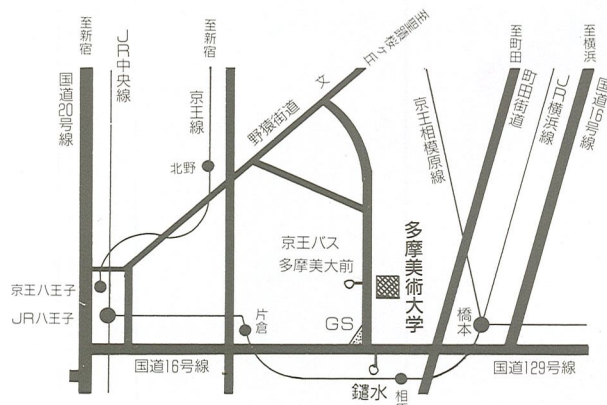
4・29(土) PM2:00~5:00

トーク「時代と表現」 ユン ボン モ 尹 凡 牟 ・ 富山妙子

富山妙子ソウル展企画者である尹凡牟氏を招いて。尹氏はニューヨーク大学大学院で美術史専攻、現在キョンウオン大学美術大教授、韓国近代美術史学会会長、多数の美術の著書と現代美術展を企画。

#### 交通

- JR八王子駅北口より神奈川中央交通バス(橋本駅行)にて鍾水下車徒歩10分
- 橋本駅北口(JR横浜線、京王相模原線)より京王バス(中央大学)にて多摩美大学前下車
- ※スクールバス利用方法は多摩美大学にてお問い合わせ下さい。



### ● 富山妙子の絵による映像作品・上映

映画「はじけ鳳仙花・わが筑豊わが朝鮮」

強制連行された朝鮮人鉱夫と福岡刑務所で獄死した詩人尹東柱に捧ぐ。

監督 土本典昭 音楽 三宅榛名 高橋悠治  
語り 李麗仙 制作 幻燈社 16mカラー50分  
1984年制作

映画「自由光州 1980年5月」

監督 前田勝弘 音楽 高橋悠治  
制作 幻燈社 16mカラー25分 1981年制作

スライド作品

「海の記憶・朝鮮人従軍慰安婦に捧げる献花」

音楽 高橋悠治 語り 新井 純  
撮影 本橋成一 照明 加藤純弘 制作 火種工房  
上映時間25分 1988年制作

スライド作品「帰らぬ少女」

タイからの出稼ぎ少女を日タイ・アーティストが描く。

絵 ジャラッシー・ルーブカムディ  
音楽 高橋悠治・カラワソ楽団  
語り 中山千夏・金 久美子・洲永敬子  
撮影 原一男と疾走プロ  
制作 火種工房 上映時間30分  
1991年制作

■上映時間については美術館へお問合せ下さい

### ●スライド「20世紀へのレクイエム・ハルビン駅」

会場にて原一男・小林佐智子(疾走プロ)が撮影。

## silenced by history

### 富山妙子 時代を刻む 作品集 1980年代より現在まで

「20世紀へのレクイエム・ハルビン駅」「はじけ鳳仙花」「海の記憶」  
「Let's go to Japan」 ●ハングル・英語・日本語の3カ国語  
●カラー図版多数 ●3月末発行予定 ●頒価未定  
発行 現代企画室 お申込みは「アジアへの視座と表現」実行委員会

### 展覧会のTシャツができました

富山妙子さんの作品のイメージとテーマで、Tシャツを制作しました。利益は活動資金に繰り入れます。限定発売ですのでお早目にお求め下さい。

■1枚 5,000円 送料別 (白と黒、大きめのL、Mサイズ)  
お申込みは「アジアへの視座と表現」実行委員会

富山妙子ソウル展

1995年7月21日~8月15日(予定)

トリア  
東亜ギャラリー  
大韓民国ソウル市茶洞33 東亜生命ビル内

「アジアへの視座と表現」実行委員会

事務局 〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3 エルピラ101  
☎03-3226-7396 FAX03-3226-7397 郵便振替 00150-1-577349